

県議会議員

のだ哲生

NoDa Report (県政報告)

vol.1



5月7日に議員バッジを交付していただき、初めての6月県議会を7月25日に終えました。県議会のルールや、習わしに戸惑いや緊張もありましたが、いち早く議会に慣れ、県政への提言やチェックがしっかりできるよう努力していきます！

公職選挙法では、初当選に関するご挨拶の文書配布が禁じられていますので、心情をご理解賜りますようお願い申し上げます。

今回初版となりますが、今後、定期的に「NODALレポート」という形で皆さまと情報を共有できたらと思います。ご愛読よろしくお願いします。



のだ哲生の理念

人の力を繋ぐ
福井が**イイ!**👍

- 仕事・教育・地域において、AIにはできない、人と人のコミュニケーションを大切に作る社会づくりに取り組みます。
- 若い人の行動力や発想力を活かせる社会づくりに取り組みます。
- シニア世代の雇用確保と、これまで培った知識や技術を若い世代へ継承できる環境づくりに取り組みます。

命と人権をしっかり守る
福井が**イイ!**👍

- 災害の発生に備え、行政・企業（公助）と地域（共助）が日ごろから顔の見える関係をつくることで、被災直後の避難対応と心のケアなどのソフト整備に取り組みます。
- 安心してやりがいを持って働くために、男女差別やハラスメント、障がい者雇用の問題など働く人の人権と処遇改善に取り組みます。

すべての人に使いやすい
ユニバーサルデザインの
福井が**イイ!**👍

- 誰もが平等に目的地へ移動できる福井特有のデマンド型バス・タクシーの交通網ネットワークが構築できるよう取り組みます。
- 多文化共生社会を目指すため、心、ソフト、ハードの多方面からの効果的なユニバーサルデザインの福井を目指します。

民主みらい会派に属しました。

会長 西畑知佐代 (3期・坂井市)
副幹事長 北川博規 (1期・敦賀市)
財務委員長 野田哲生 (1期・福井市)

副会長 辻 一憲 (2期・越前市)
政調会長 渡辺大輔 (1期・福井市)



1

甲子園球場と同じ大きさの

福井少年

運動公園

ってまだまだ可能性あり



提言 ワク♥ワク♥する
スポーツ/文化交流
の拠点にしては！

問 運動公園の施設は国体により見事に生まれ変わったが、東側にある少年運動公園（こどもの国）は人口密集地域にありながら施設の老朽化もあり利用者も少なく、存在感がなく寂しく感じる。このこどもの国をスポーツ・文化の交流拠点と位置付け、再活用プロジェクトを進めてはどうか？また、こどもの国から歩道橋へと繋がる西部緑道沿いの知事公舎～みどり図書館～足羽山までの交流軸として、知事公舎の活用を含めリニューアルすべき。

答 **知事** スポーツコミッション制度も提案しているが、この制度を活用してスポーツ、文化の交流拠点にしていきたい。施設の整備が必要なところがあれば、追加して整備していきたい。

部長 今後、キッチンカーなどにより園内での飲食提供なども検討したい。

知事 知事公舎の利活用は、県民の皆さんの議論にお任せしたい。全国的な先例を見ると、公館や文学館にしたという事例もある。民間に売却することも考えられる。運動公園や足羽山に近いといった事も念頭に置いた活用方法を考えていただければと思っている。



指摘

超過勤務時間の 実態と今年度からの 縮減目標は？

AI, RPAの導入でどれだけ仕事は…

問 これから杉本知事を先頭に県職員全員と新たな県政を作っていく意気込みを感じる。本県の一般行政部門の職員数は他県と比較しても最少水準であるなか、徹底現場主義による夜間の県民会議、クレド（意思決定や行動の基準になる信条・行動指針）の施行など業務が更に増えることになるが、昨年の超過勤務時間の実態と今後の縮減目標は？また、少しでも業務効率化を図るため、AIやRPA技術を活用したスマート県庁を作るとしているが、どのくらいの業務件数や時間数の削減になるのか？

答 **知事** 県内全体をワクワクドキドキさせるには、県庁職員にも元気が必要であり、ワーク・ライフ・バランスについても重要である。5時以降の会議はせず、ライトダウンデーを確実に毎週実施する、管理職は部下の仕事の状況を把握するなど工夫して取り組む。

部長 行革プラン「仕事の進め方改革」の3年で3割削減する目標としたい。県業務では、RPAによる業務自動化で約80業務、AIによる会議録作成システムで延べ約700回程度の会議や打ち合わせに活用できる。AIとRPAでの効果で約10000時間の削減ができると見込んでいる。今年度の実証実験を踏まえ調査・分析して、次年度以降の対応を検討していきたい。

2

チーム杉本に期待

はあるけれど…

でも？ 福井県庁の職員数は全国でも最少水準

働き方、本当に大丈夫？

3

事故多発!

子どもや
高齢者を守る
生活道路の安全を



ゾーン30の路面標示のある道路を通行する学童



ゾーン30の標識と速度制限の標識

提言

歩行者を守るため ゾーン30区域 エリアを拡充すべき!

問い 最近全国で高齢者ドライバーによる事故や子どもが犠牲となる痛ましい事故が相次いでいる。生活道路での人身事故を一件でも減らすために、行政にしかできない通学路・生活道路の安全対策を強化すべき。県で策定した安全・安心プログラムの中にある「ゾーン30」区域を拡充していくべきでないか。区域設定や規制看板は県、路面表示は市町が予算化するため、調整が滞り進まないと伝え聞く、今後のゾーン30区域の拡充への方策は?

答弁 **部長** 小学校や幼稚園の周辺など、生活道路における安全な通行を確保するため、重要な政策である。引き続き、必要な区域の整備検討を行い、ゾーン30の拡充に努めていく。ゾーン30は、公安委員会と道路管理者の対策を組み合わせるため、道路管理者である市町との連携は極めて重要である。今後も道路管理者と連携し、それぞれ必要な予算措置を講じた上で整備を図っていく。

総務教育常任委員会

※のだはこの委員会に所属しました

県庁で働くアルバイト・嘱託職員の雇用制度が変わります!

県庁内には、窓口・相談業務の大切な行政サービスの担い手として嘱託職員410名、アルバイト470名を雇用しており、来年4月からこれらの方々の処遇が「会計年度任用職員」として統一化されます。正職員との均衡・均等を求めた地方公務員法の改正であり、県内市町においても条例制定の準備が進められています。今回福井県の条例改正に対して一般質問および総務教育委員会で質疑をしました。

追求 職種によっては、現在の報酬から月額が下がる対象者もいるが、職務の特殊性を考慮して月額報酬が下がらないよう検討すべきでは?

答弁 現在の職員の職種や報酬は様々であり、これを一定の基準に従って算定することによって、移行後はどうしても月額の増減が見込まれる場合が出てくる。期末手当2.6月分を含め、現行水準を上回る年収を確実に確保できるように対応したい。



野田 委員

サッカー Jrチームに もっと練習場所の提案を

提言 ジュニアサッカーはスポーツ少年団やクラブチームが最近多く、非常に人気も高く練習場所が少ない。小学校グラウンドを野球と共有する光景も見られるが危険性もある。社会教育としてジュニアサッカーも重要である為、市町と連携して場所の確保に努めてほしい。ジュニアのサッカーチーム数と運動公園の陸上競技場、サブグラウンドは使用できるのか?

答弁 スポーツ少年団が61チーム、任意のクラブチームが4チーム。陸上競技場はサッカーの試合はないが、サブグラウンドは県のサッカー場として社会人の県リーグでも使用している。



聞くのだ やるのだ つくるのだ もっとイイ!!👍福井県をつくるのだ

視察

岐阜の児童養護施設へ

民主・みらい会派で、岐阜県の児童養護施設「はこぶね」と、岐阜市を主なエリアとする岐阜県中央子ども相談センター（いわゆる児童相談所）に行って現状や課題をお聞きしました。

児童養護施設とは、保護者のいない児童や、虐待されている児童など、生活環境で養護を要する児童が入所し、これを養護し、自立のための援助を行う施設。はこぶねは、6棟の住宅を建設し、幼児～高校生が一つの住宅に7～8人家族同然で生活しています。



住宅展示場のようなのですが児童養護住宅です（6棟）

従業員は1棟に1人が住み込みで、子ども達と一緒に暮らしています。大人を信頼出来なくなり入所してきた子どもが、自分は人に支えられて生きていることを学び、感動し泣いて退所していく。（入所は18歳まで）このような家族型の施設は残念ながら福井県にはありません。国は今後、里親養育を増やしていく方針で、県も目標を立ててますが、まだまだ足りていないのが現状です。これから支援策を訴えていきます。



食卓も普通の家庭用です



理事長（右）から施設の説明を受ける

活動

農業（アグリツーリズム）とアウトドア体験による昔の生活（ReLIFE）を！

同級生が金津で15haの水田を営んでいます。そこは、営農者の高齢化と放置林が課題のひとつとなっており、「地域の人と一緒にここをワクワクする場所にできないか」と、畑作経営者、飲食業者、会社員、公務員など、私も含め19名が集まりました。子ども達や、観光客に新しいハウス野菜の種まきや田植えを体験してもらい、収穫時期には料理人のメニューやおにぎりをふるまい、その後は、アウトドアを楽しんでもらいたい。そんな企画を現在、県のクラウドファンディング募集枠に申請しています。9月下旬結果発表!当選してほしい!



少し登った林道から見る風景



最近すぐに皆さんの前で演説してしまいます



山水がすごく柔らかく冷たいです

日常



県会議員は普段どこにいるの？

県会議員になり4ヶ月。皆様から、議員は普段どこにいるの？と聞かれます。

もちろん地元要望、会議、集会、そして会派や組合組織の仕事もありますが、空いた時間を使って議員会館（写真の赤丸部分）の会派の部屋に私の机があるため、そこでいろいろ調べたり、県の関係する担当の方に来ていただき教えてもらったりもします。相談事なども小さな会議室で聞いたりします。

